



# せたがや 介護ネットニュース

## 第 39 号(新年号)

発行日：平成 26 年 1 月 1 日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区福祉人材育成・研修センター

住所：世田谷区成城 6-3-10

### 新年のご挨拶

昨年は世田谷区介護サービスネットワークの活動にひとかたならぬご尽力をいただきありがとうございました。平成 27 年には利用者、介護職、事業者にとって厳しい制度改正が予定されています。事業者団体として協力してこの難局に立ち向かって参りたいと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

世田谷区介護サービスネットワーク代表 辻本さく夫

### ～訪問介護連絡会 第 2 回定例会「被災地から学ぼう」～

訪問介護連絡会では「災害」時、訪問介護事業者として何が出来るのかと考えた時、「安否確認」と「避難所」へのヘルパー派遣という、介護サービスネットワークで区と協定を結んでいる業務について考えました。

安否確認についてはすでに 3.11 でも実施し、経験済みなのでイメージはわかりますが、避難所での活動がどんなものか？想像もつきません。

実際、被災された方からのお話を伺いたいということで、今回第 2 回定例会の講師は、震災時、石巻市の介護事業所に勤務されていた、末永美雪さんをご紹介いただきました。

「今まで、傷が癒えず人前などではとても話せない」と言われましたが、世田谷の地であるということもあり、「人前で話す勇気も必要なのかな」と、自分自身のけじめとして決心してくださり、お引き受けいただきました。

「発災時は平常どおり業務をしていた。事務所に戻ったスタッフに、独居の方の安否確認の指示を出したところ、通行止めでいけないとその先の方の安否を心配しながら戻って来た。その直後に津波が襲い、あの時自分の指示でスタッフが津波に飲み込まれていたらと、今でも指示を出すことが怖い。自分の家族の安否もわからないまま、避難所で一夜を明かし、じっとしていられなくて、



自分に与えられた使命だと、ハイテンションで仕事をしました。自分自身も被災者でありながら、業務をこなす過酷さと、身内をなくしたスタッフに対しての精神的なフォローなど、記憶が定かでないほど想定外のことが次々と起こった。そんな中、自分を支えていたものは、大変な中、仕事に来てくれたスタッフ、利用者さんからの感謝の言葉だった」そして「アンパンマンの歌に支えられた」と涙ながら歌っていただきましたが、聞いているほうもしんみりしてしまいました。まだまだ傷が癒えていないということがひしひしと伝わり、つらい体験をお話くださった末永さんに、参加者の皆さんのアンケートにも感謝の気持ちがつづられていました。世田谷には津波は来ないけれど、火災という違う恐怖があります。想定内のことは起こらない。すべて想定外と考えるためにも、今から図上演習などを通じての準備が必要かと実感しました。

また、災害発生直後から、被災地に慰問活動を行い、東北高校野球の応援ソングをリリースしていて、現在も毎月慰問活動を行っている、西浦秀樹君に歌っていただきました。少しほっこりと癒された空間でした。約 60 名ほどの参加でしたが、考えさせられた研修でした。

訪問介護連絡会代表 宮川英子



## 「世田谷区の災害対策と介護サービスの連携を学ぶ」を開催しました

平成 25 年 11 月 15 日に世田谷区民会館集会室で「世田谷区の災害対策と介護サービスの連携を学ぶ」と題して全体会検討小委員会、災害対策小委員会合同の研修会を開催しました。

初めに世田谷区における介護事業に関する災害対策の現状を世田谷区保健福祉部計画調整課の伊藤課長から講演をいただきました。東日本大震災に関する自らの体験も交えながら世田谷区の目指している災害対策と、現段階でできていることについて説明をいただきました。災害時に最小限の被害で済むように世田谷区も本気で取り組んでいることが伝わってくる内容でした。

続いて上祖師谷あんしんすこやかセンターの大倉さん、訪問看護ステーション北沢の大原さん、玉川訪問看護ステーションの松岡さん、世田谷ケアマネジャー連絡会の丸山さん、訪問介護連絡会の鳥居さんと宮川さん、そして通所連絡会の河合さんにご登壇いただき、パネルディスカッション形式で各職種で取り組んでいる災害対策についてお話しいただきました。

事業種によって災害対策の進み方に差がありますが、とくに連携の点で大きな課題があることが浮かび上がってきました。

その後、5 地域に分かれてグループディスカッションを行いました。震度 6 強の地震が発生し、72 時間たった時点でそれぞれの事業所、職員はどのような行動を取ればいいのかについて話し合いました。

今回のような研修は初めてでしたが、80 名を超える参加者が真剣に議論していたことが印象に残りました。世田谷区介護サービスネットワークでは災害対策小委員会を中心として今後も減災に向けた取組を会員とともに進めていきたいと思えます。

世田谷区介護サービスネットワーク代表 辻本きく夫



### ～リレー随筆～

毎回、運営委員が持ち回りで思い思いに書き上げた文章を寄せています。

次期法改正に向け、様々な事が憶測されています。個人的には成り行きに振り回されるよりも、自己の利益を追求する事が望ましいと考えています。経営です、働く者の権利です。

そういう意味でこれからの介護経営を考えています。もちろん社会福祉の視点は信念として踏み外す事なく、出来る事をしていく。その為の連携であり、ネットワークの意味と思えます。私達は結果振り回され、足元を疎かにしていたのではないのでしょうか。



では何をするのか？ 地域包括ケアを活用し、地域での介護事業者としての役割を全うする事が出来ます。地域連携を図っています。他職種どころか、利用者と家族、行政に地域の様々な立場の方と話し合っています。だからこそ居るべき場で必要とされます。自助共助を共に持つ事で本来の社会福祉に立ち返るのではないかと。

夢ではない在るべき姿を私達が示す様に努める事、出来たらと考えています。新しく経営部会を担わせて頂き、皆様とお話しさせていただきます。訪問連絡会も今まで通り頑張ります！

次はデイホーム三宿の河合さんです。

あんくるあすプラン・訪問介護サービス 磯崎寿之

### 「連載コラム」 世田谷ケアマネジャー連絡会 川嶋望恵子

～新企画として前回より「世田谷ケアマネジャー連絡会」よりコラムを寄せて頂いています～

介護保険を初めて利用する方は「ケアマネジャー」で何をやる人なのか具体的には知らない方が多くいらっしゃいます。区役所やあんしんすこやかセンター職員から「サービスを利用するならばケアマネジャーを」と言われてよく分からないままお問い合わせをいただくことが殆どです。ケアマネジャーの仕事を簡単に言えば介護保険サービスを利用する方のケアプランの作成やサービスの調整を行う事、となります。ケアプランを作成する為にはアセスメント・課題分析といった作業が必要となります。今までどのような生活をしてきたのか？ どう

して介護が必要になったのか？これからどのように暮らしていきたいのか？こういった事をご本人やご家族に聞き取りを行い、ご本人と一緒にケアプランを作成していくのです。このアセスメントの作業が十分でないと、せっかくサービスを調整したとしても、思ったような効果が出ないこととなります。より良いケアプランを作成する為に日々研鑽を重ね、「ケアマネジャー」がただ単に毎月ハンコをもらいに来る人、と言われないようにしたいと思います。



## ～せたがや通所連絡会、研修グループ、世田谷グループホーム連絡会 合同研修会～

10月28日、成城ホールにおいて、「認知症と共に『生きること支援』とは」というテーマで、合同研修会を開催しました。

講師は(株)大起エンゼルヘルプ クオリティマネージャーの和田行男氏です。

東京都で初めてとなる「グループホームこもれび」の施設長を務められ、現在は上記会社にてグループホーム、小規模多機能、デイサービスの統括責任者を務めています。

認知症とは「出来ていたことが出来なくなり、わかつていたことがわからなくなる」ということであり、出来なくなる・わからなくなる過程が本人にはわかっているという特徴をもっているともいえます。そこが大変恐ろしいところでもありますが、私には想像を絶する状態であり、本人にとっては辛く不安で絶望的な毎日であると考えます。また認知症は、自分の意思を行動に移すことが出来ても、やり遂げることが出来なくなる状態です。

自分から何かをしようとする＝自分の意思を行動に移そうとするを、まず介護者は保障する。つまり意思を行動に移せるように支援する。それが支援者としての基本です。

保障しつつも、認知症から思い出せない・・・云々 が起こることを予測して、可能な限り失敗感をもたないで済むよう支援していく。それが介護者の専門性です。

たとえ失敗したとしても、それを転換してあげられるように支援をする。つまり本人にとって「出来ないこと=辛いこと」という気持ちの固定化につながらないように、支援者として事後策を講じることが専門職ならではの技です。

「認知症」を語る時、症状である徘徊＝目的もなく歩い

### 「<sup>こと</sup>は <sup>は</sup>言の葉にのせて送る介護の心～言語的コミュニケーション能力を上げるには～(2)」

敬語の基本を確認しよう

敬語に「尊敬語」、「謙譲語」、「丁寧語」の3種類あることをご存じのことと思います。敬語を使用するのは社会的地位の上下、年齢の上下、内と外の区別を明確にすることが目的です。敬語の使い方を間違えると意図と反対のメッセージを発することになるので注意が必要です。

尊敬語は「手紙を差し上げる」のように相手を上げる言葉、謙譲語は「私はAと申します」のように自らを下げることにより相対的に相手を上げる言葉です。丁寧語は上下関係がないが通常より丁寧な言葉です。問題は謙譲語を尊敬語として使用することや内を下げずに逆に上げてしまうような表現が増えていることです。例をいくつか挙げましょう。

1) 「先生が早く帰るようにと申されておりました。」では、「申す」が謙譲語であるため上位の人に使えません。この場合、「先生が早く帰るようにとおっしゃいました。」などと修正しなければなりません。

2) 「うちの奥さん料理がうまいんだ。」では、「奥さん」は他人の妻への敬称であるため、身内を上げることによって相手を下げる結果になってしまいます。最近多く耳にします



ていることで留めてしまい一番大事な「なぜ」「何でそうなのか」を省いてしまっている。大いに反省させられました。

和田さんは常に認知症の方を知ろうとし、「あなたがこれまで営んできた“人としての生活”を続けていけるように手助けさせてもらう生活支援者です。決して看守・監守ではありません。僕はあなたをそっと手助けさせてもらいます。あなたがわからないことで困ったことがあったら、お手伝いします・・・。」という姿勢です。

介護職の専門性について改めて問い直し、職場に持ち帰り活かしていこうと気持ちを新たにしました。

参加者は大勢で、研修最後の質疑にも多数の意見が出ました。ご参加してくださった皆様ありがとうございました。

せたがや通所連絡会 木高道子

が、大変失礼な言い方なので例に挙げておきます。

3) 「先生は診察室におられます。」では、「おる」が謙譲語であるため奇妙な表現になっています。「先生は診察室においでです。」や「～いらっしやいます。」と言うとよいでしょう。「あり」、「おり」、「はべり」は謙譲語であることを意識にたたき込む必要があります。

それでは問題です。以下の文章を敬語を使って書き換えてください。

- 問題1 「Aさんが昔の歌を歌いました。」
- 問題2 「昨日世話になった先輩に手紙を書きました。」
- 問題3 「Bさんが水をコップ一杯飲みました。」
- 問題4 「故郷の先生が来週東京に来ます。」
- 問題5 「きのう社長に意見を言いました。」
- 問題6 「その書類を取って。」
- 問題7 「明日先生に会う。」
- 問題8 「あなたの考えを言いなさい。」

注) 回答例は4ページ。

NPO わかば 辻本きく夫

～研修情報・イベント情報～

【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

◆研修グループ☆

1) スポット研修「大福祉用具展」

平成26年1月10日(金)18:00～

会場:世田谷区民会館集会所

◆合同研修会(通所連絡会・研修グループ合同)

1) 「認知症の医学的理解」☆

平成26年2月18日(火)

会場:成城ホールCD



◆全体会小委員会☆

～新春企画～

- ・ 映画「遺体 明日への十日間」無料上映会
- ・ 「身近な防災について」世田谷区介護ネットワークの防災取り組み  
日時:平成26年2月13日(木)14:00～17:15  
開場:14:00 場所:成城ホール 会費:無料  
第一部:「遺体 明日への十日間」14:30～16:15  
第二部:「身近な防災について」16:30～17:15
- ・ 介護の現場で働く人、介護者、介護を受ける人のための

「大新年会」～今年も元気に楽しく～

日時:平成26年2月13日(木)19:00～21:00

開場:午後6時30分

会場:成城ホール

会費:2,000円/人(事前振込支払い)

◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修予定】

☆

1) 認知症ケア研修【基礎編】

平成26年1月15日(水)14:30～17:00

会場:成城ホール

2) サービス提供責任者研修【現任2】

平成26年1月22日(水)14:00～17:00

会場:世田谷区社会福祉事業団本部

3) ケアマネージャー研修【現任3】

平成26年1月23日(木)14:00～17:00

会場:世田谷区民会館

4) 地域包括支援センター職員研修【保健師・看護師】

平成26年2月6日(木)14:00～17:00

会場:世田谷区社会福祉事業団本部

5) 世田谷福祉区民学会第5回大会

平成26年2月15日(土)12:00～17:30

会場:日本体育大学

6) 認知症ケア研修【基礎編】

平成26年2月24日(月)14:30～17:00

会場:成城ホール

人材確保・人事管理セミナー

平成26年2月24日(月)13:00～17:00

会場:三茶しゃれなあと

7) ケアマネージャー研修【現任3】

平成26年2月25日(火)14:00～17:00

会場:三茶しゃれなあと



～せたがや福祉区民学会～☆

せたがや福祉区民学会第5回大会が平成26年2月15日(土)に日本体育大学で開催されます。

大会日時 平成26年2月15日(土)12時～17時30分

会場 日本体育大学 世田谷キャンパス(世田谷区深沢7-1-1)

詳しくは下記にお問い合わせください。

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話:5429-3100

☆☆のついた研修等のお問い合わせは事務局宛にお願いします。

～世田谷区からのお知らせ～

「せたがや介護の日」を実施しました

11月11日(いい日、いい日)は介護の日です。世田谷区では11月11日に成城ホールで「せたがや介護の日」を実施しました。この内容を区のホームページに掲載しましたので、ご覧ください(平成26年3月末頃まで掲載予定)。なお掲載している報告紙は、出張所等でも配布しています。

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/105/143/563/d00129927.html>

このイベントのシンポジウム「健康な暮らし、日々の予防、これからの生き方を考える」の様態をせたがや動画で配信していますので、併せてご覧ください(上記ページの関連リンクからご覧いただけます)。

◆問合せ 世田谷区地域福祉部 高齢福祉課 管理係

TEL:5432-2397 FAX:5432-3021

☆世田谷介護サービスネットワークのホームページが新しくなりました。<https://www.setagaya-jinzai.jp/kaigo/>

会員事業所の研修、イベントの情報を掲載します。ネットニュースは、隔月に発行します。希望者は、事前に事務局にお問い合わせください。ただし、掲載できるのは非営利の研修、講演会、イベント等に限りです。

編集後記

◆寒さが厳しい日が続きます。皆様お身体には気を付けてお過ごし下さいね(楠田)

◆「年の瀬や 逝きし面影 永遠(とわ)に忘れそ」(蒼生)

(回答例)①Aさんが昔の歌をお歌いになりました。②～手紙を差し上げました。③～一杯召し上がりました。④～東京にお出でになります。⑤～意見を申し上げました。⑥～お取りください。⑦～先生にお目にかかる。⑧～考えをお話してください。

問い合わせ先(事務局)

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話:03(5429)3100、FAX:03(5429)3101